

授業科目名	イベントコーディネーター総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	小野田 金司		
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<p>実践研究にて策定したテーマにもとづき</p> <p>さらに具体的な実践、経験、研究を重ね</p> <p>卒業レポートを策定する。</p>						
到達目標						
レポートは第1期生の足跡となり、2期生が継承するに値するものとなることを目標とする。						
授業方法(展開)						
<p>各自の策定したテーマに基づき実践と研究を重ねる。</p> <p>進捗状況を定期的の下級生や学内に発表する。</p> <p>テーマに関わる専門家の外部講師による業界研究を数回予定。</p> <p>フィールドワークも実施する。費用は外部資金を調達するのが原則とするが、やむを得ず個人負担になる場合もある。</p> <p>他の授業との共同になる場合もあります。</p>						
関連科目・知識・スキル						
エンターテインメントビジネス論、観光プロモーション論、イベントビジネス論、アートイベント論						
成績評価						
レポートの進捗度 50%、完成度 50%						
教科書・参考書など						
授業内で指導						
履修上の注意事項						
<p>社会人の方と接する機会が多いのでマナーには注意してください。</p> <p>授業の遅刻は厳禁、理由ないものは欠席扱い。授業中の私語、携帯電話の使用も禁止。</p> <p>パソコンは必要です。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

春期

第1回～第10回

テーマの実践と研究

- 実施計画の理解
- 収支計画の理解

第11回～第15回

レポート DRAFT1 の作成

定期試験はレポート

第16回～第30回

レポートの改善とクラス内発表

定期試験はレポート

学生への一言

仕上げの年です。

悔いのない実践と研究でフィニッシュしましょう！

授業科目名	イベントコーディネーター総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	内藤 敏樹		
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<p>・「イベント」は一過性のものであり、かならず「ゴール」があります。そこで本ゼミでは「プロジェクト・マネジメント」の手法を導入し、イベントの仕組みを学ぶと同時にプロジェクト遂行の基礎的な実務能力を身につけることを目的とします。</p>						
到達目標						
<p>・イベントを含む「プロジェクト」は、多くの人の手によってはじめて成立します。すなわちここではチームワークと同時に、機能の分担、責任の分担が明確にされなければなりません。この授業ではイベントの運営にともなう基礎的な知識を身につけると同時に、社会人として必要な「責任ある業務処理」の基本を理解することを目標とします。</p>						
授業方法(展開)						
<p>・座学、見学、実地演習など多くの形態をとります。それぞれの割合については、やってみなければわかりませんし、参加される皆さん方の要望によっても左右されると思います。ただし申し上げておきたいのは、通常の講義と異なって皆さん方が主体となって授業を進めていただくということです。その意味では授業もイベント（プロジェクト）の一つであり、皆さん方がちゃんと分担して準備しておかなければただちに終わってしまうのです。</p>						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>・ペーパーテスト等も何回か行いますし、プレゼンテーションをしていただくこともありますが、「結果」よりも取組姿勢の方を重視した成績評価とします。</p>						
教科書・参考書など						
履修上の注意事項						
<p>・総合研究の時間はここで述べたテーマの学習・調査研究・実践などの作業の他に、生活・学習指導、あるいは就職準備のための事項等が入る可能性があります。またイベントは他の団体・機関等が実施するものであるため、必ずしも時間割通りにはいかないことがあります。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. イベントビジネス論 (1) (文献講読)
3. イベントビジネス論 (2)
4. イベントビジネス論 (3)
5. プロジェクト・マネジメント論 (1)
6. プロジェクト・マネジメント論 (2)
7. イベントの実際-ケース・スタディ (1)
8. ケース・スタディ (2)
9. ケース・スタディ (3)
10. イベント実践準備
11. イベント実践準備 (2)
12. イベント実践
13. イベント総括・検証
14. 評価、まとめ (1)
15. 講評・まとめ (2) レポートの作成
(後期もこのように座学-実践のサイクルをもう一度行います)

みなさんに実践していただくイベントは、現在未定です。場合によっては他クラスと共同で実施することになる可能性もあります。

学生への一言

「実践研究Ⅰ・Ⅱ」 講義概要

授業科目名	イベントコーディネーター総合研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	田辺 清人		
コース名	ホテル・イベントコーディネーターコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
授業概要						
<p>実践研究で学んだことを踏まえ各自に調査・研究テーマを決めてもらい、1年をとおして、調査・研究報告書を提出してもらいます。研究テーマに沿って現地調査などを各自に行ってもらいます。</p>						
到達目標						
<p>①イベントビジネス業界の全体の把握 ②昨今のイベントコンテンツの把握 ③現地調査、報告書作成</p>						
授業の運営方法						
<p>1 講義の前半45分は、イベントビジネスの座学及び輪講となります。後半45分は、実際のイベントの事例の紹介・研究となります。場合によっては、プレストの時間となります。</p>						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>Ⅰ：春学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 30% ・ プレゼンテーション（中間発表）70%（予定） <p>Ⅱ：秋学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 30% ・ プレゼンテーション（報告書）70%（予定） 						
教科書・参考書など						
<p>オリジナル資料の配付</p> <p>参考書：『イベントマネジメント』（社団法人日本イベント産業進行協会）3000円</p>						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン必須（パワーポイント、ワード、エクセル） 						

授業スケジュール

1. オリエンテーション

2. ～4. 研究テーマの設定及び目的

- ・研究テーマの設定
 - ・年間調査計画の策定
- (各自発表)

5. ～12. 研究テーマ別実習

各自のテーマを取り上げ事例研究を行います。

(各研究テーマ別にみなさんに検討してもらいます)

13～15. 各自のテーマの調査・研究

前期の調査・研究報告の中間発表を3週間かけて行います。

16. ～21. 研究テーマ別実習

各自のテーマを取り上げ事例研究などを行います。

(各研究テーマ別にみなさんに検討してもらいます)

21. ～24. レポート制作及び発表原稿制作

25. ～27. 個人別指導

28～29. 研究テーマ発表

2週間にわたって各自の調査・報告書を発表してもらいます。

30. まとめ

※ 1年の中で2回全員での現地視察を行います。

奈良1300年記念事業、富士スピードウェイ、鈴鹿サーキット等

履修希望者へのメッセージ

イベントの特性(一過性、再現不可能、生モノ)を考慮すると現場への調査が理解の早道です。最新のイベント情報を提供しますので、多角的にイベントビジネスを調査して理解して欲しいと思います。

また、調査・研究をとおして相手に訴求する能力を身につけて欲しいと思います。